

事業概要【農水産物・食品及び土佐酒輸出拡大プロジェクト推進事業を通じた地域の活性化事業】

旧制度（推進）

申請者	高知県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	818,034千円（133,333千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・生産から流通・販売までの関係者が連携する「輸出拡大プロジェクト」を立ち上げる。 ・輸出先国のニーズを捉え「マーケットイン型の地産強化」を図る。 ・海外支援拠点や商社と連携した海外プロモーションを展開し、農水産物・食品、土佐酒の輸出拡大を図る。 ・輸出拡大による効果（原材料生産や新規雇用等）を地域経済へと波及させ、中山間地域の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費	○水産物輸出促進事業【20,292千円】 ・水産物輸出促進協議会による展示会への出展や賞味会の開催等を支援（補助金） ○農産物輸出促進事業【9,300千円】 ・農産物の展示会出展、商談支援、現地量販店でのフェア実施、現地シェフによるメニュー開発、商社・バイヤー招聘等（委託料） ・農産物の展示会・商談会への出展やテスト輸出等の取り組みを支援（補助金） ・農産物の販促活動を実施（アドバイザー謝金、輸送費、会場費、消耗品費） ○加工品（土佐酒含む）の海外への販路拡大事業【99,562千円】 ・高知県台湾オフィスを通じた現地での事業展開支援（委託料） ・貿易促進コーディネーターや食品輸出アドバイザーによる輸出支援（委託料） ・食品海外ビジネスサポーターによる現地営業活動の実施（委託料） ・展示会出展や商談会の開催、高知県フェアの実施（委託料） ・加工品の外商活動を実施（販促資料作成費、消耗品費、会場費、輸送費等） ・衛生管理向上、安定供給体制の強化に必要な施設整備を支援（補助金） ○土佐酒テロワールの深化と展開【4,179千円】 ・各メーカーの香味の特徴の解明（消耗品費） ・研究用機材等の購入（備品購入費） 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①高知県の食料品の輸出額（+27億円） ②輸出戦略を作成した食品加工事業者数（+32社） ③輸出に取り組む食品事業者数（+73社） 関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/sanshin/ (効果検証) https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2019103000372/		

事業概要【小規模集落活性化事業】

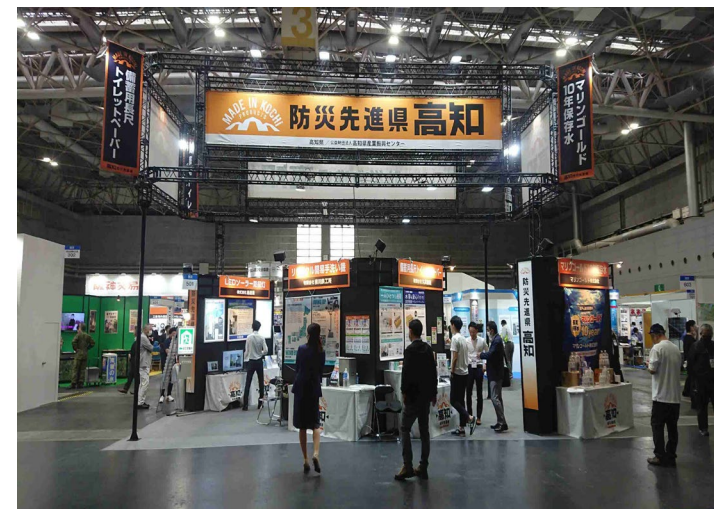
旧制度（推進）

申請者	高知県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	331,404千円（68,362千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・人材育成、関係人口の拡大等による中山間地域が抱える課題解決の取り組みを支援することで、人口減少の負の連鎖を食い止め、若者の定着・増加と集落活動の後継者の確保といった好循環が生み出される。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	市町村や地域が取り組む地域づくり人材の育成や関係人口の構築による集落の活性化を支援する。 ・集落活動センターステップアップ事業 68,362千円 実施主体：市町村 補助制限：1/2 補助対象：人材育成、コーディネーター導入経費、集落活動費 等		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業の取り組みにより構築された関係人口数（10,990人） ②デジタル技術の活用による草刈り活動の負担軽減率（100%）	関連URL	https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/080000/080601/

事業概要【高知県生産性向上・デジタル化支援事業】

旧制度（推進）

申請者	高知県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	787,393千円（135,322千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・地産外商が進み、地域地域で若者が誇りと志を持って働ける高知県の実現を目指す ・生産性の高いものづくりと働きやすく活気のある商工業の実現を目指す ・本県製造業の労働生産性の向上を図る ・県内企業の収益面の改善を行い経営基盤を強化することで、良質な雇用環境の創出を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○デジタル化支援による生産性向上 ・中小企業等デジタル化促進事業費補助金23,523千円 ・生産性向上支援事業委託及び生産性向上推進アドバイザー9,928千円 ○財務分析支援による生産性向上 ・（公財）高知県産業振興センターによる事業戦略に基づく伴走支援（補助金）26,415千円 ○オンラインとリアルを活用したハイブリット型の外商支援事業 ・（公財）高知県産業振興センターによる県外見本市や商談会による外商活動支援（補助金・委託料）75,456千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①（公財）高知県産業振興センターの外商支援による成約額（+70億円） ②デジタル化伴走支援の企業数（+210社） ③新型コロナウイルスの影響を受けた企業のうち営業損失計上企業の割合（▲19.9%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/sanshin/ （効果検証） https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2019103000372/



事業概要【高知県ヘルスケアイノベーションプロジェクト】

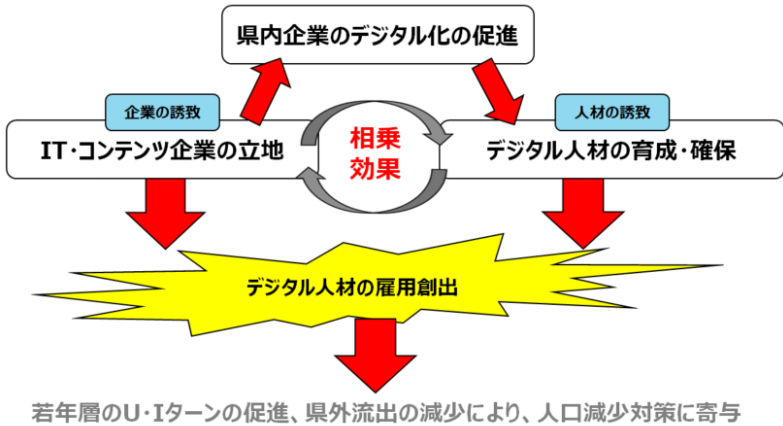
旧制度（推進）

申請者	高知県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	139,609千円（30,025千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・高知県にヘルスケア産業を創出し、地域産業の活性化を図る ・県外企業の誘致を促し雇用を生み出すことで、若者の県内定着や県外からの転入促進を図る ・県内企業のヘルステック分野への参入を促し、企業の成長力の底上げを図る ・デジタル技術を活用して、地域や職域の抱える課題の解決を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○高知県ヘルスケアイノベーションプロジェクトの推進体制の運営 ・協議会・相談窓口の運営資金等（事務費1,767千円） ○プロジェクト支援案件に対する伴走支援 ・企業へのヒアリングの実施、事業内容のブラッシュアップ、事業化までのサポート（委託料8,133千円） ○県外企業と県内機関の交流・マッチングの場づくり ・プロジェクト支援企業と県内学生等との交流会の実施（事務費125千円） ○高知県ヘルスケア産業実証実験支援事業費補助金 ・実証実験に係る経費の一部を補助（補助金20,000千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①企業からの相談窓口への相談件数（+75件） ②本プロジェクトに参画した県内企業及び市町村数（+50件） ③高知県内への本プロジェクト支援県外企業の支社等拠点設立件数（+40件） ④本プロジェクト支援県外企業における県内雇用人数（+27人） 関連URL (実施体制) https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2025012700043/ (交付金の具体的使途) https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2023062300190/ https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2025042800164/		

事業概要【地方におけるデジタル人材の雇用創出事業】

旧制度（推進）

申請者	高知県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	92,368千円（27,621千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・若者が地域に定着できるような雇用の創出のため、IT・コンテンツ関連企業の誘致を促進する ・誘致企業と連携した取り組みを進めるため、県内企業のデジタル化を促進するとともに、企業内でのデジタル人材の育成強化を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 情報発信や市町村と県外企業とのマッチング機会を創出することで、IT・コンテンツ企業等誘致促進し、地域の若者の雇用創出を図る。さらに、商工会の経営指導員等のデジタル技術を活用した経営支援力の向上に取り組むことで、県内小規模事業者のデジタル化を促進し、生産性向上や高付加価値化につなげる。 【主な経費】 IT・コンテンツ企業等誘致促進、企業の人材確保促進のための情報発信 ・企業誘致サイトの運用（委託料）1,681千円 市町村と県外企業とのマッチング機会の創出 ・市町村と県外企業とのマッチングイベントの実施等（委託料）14,190千円 小規模事業者のデジタル化を促進するための、商工会の経営指導員等のデジタル技術を活用した経営支援力 ・経営支援力向上を図る事業への支援（補助金）9,887千円 等		
KPI	①新規雇用創出数（500人） ②企業立地件数（34件） ③商工会連合会を通じた小規模事業者のデジタル化支援数（270件）	関連URL	https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/152001/ https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/150201/



申請者	高知県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	600,000千円（200,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・高知ならではの魅力をじっくりと、深く、たっぷりと味わっていただく、長期滞在型の観光への転換を図る ・中山間地域の観光素材も意識しながら観光商品を磨き上げ、地域における持続可能な観光振興を図る ・アンテナショップを拠点に観光や食の魅力を全国に向けて発信し、観光誘客及び外商拡大を図る		
事業概要・ 主な経費	○インバウンドの誘客も視野に、「極上の田舎、高知。」をコンセプトに、本県が磨き上げてきた自然、食、歴史・文化を集大成として発信する高知ならではの観光キャンペーンを展開 ・広報事業（補助金）81,732千円 （メディアを活用した広報、特設WEBサイトやSNSを活用した情報発信、アンテナショップ等と連携したPR、交通広告等による交通拠点等での広報PR） ○「スーパー・ローカル・ショップ ～極上の田舎～」をコンセプトにしたアンテナショップを拠点に、本県の食や観光などの魅力を発信 ・商談会の実施、商品の磨き上げ支援等（補助金）3,022千円 ・情報発信事業（補助金）34,706千円 ○「極上の田舎（スーパー・ローカル）」をコンセプトとしたプロモーション活動を展開し、消費者への露出機会を拡大 ・プロモーション事業（委託料）65,254千円		
※経費内訳はR7年度事業費	どっぶり高知旅 キャンペーン ＜開催期間＞ 令和6年4月1日～ 令和10年3月31日 全国一の森林率を誇る豊かな山が、全国的にも有名な清流を生み出す。さらにその清流は、雄大な太平洋へとつながっていく。山・川・海がコンパクトに揃う自然と、その自然が産む地域ならではの空気を、正しく感じられる体験を提供。 大手旅行雑誌の調査「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」ランキングで過去17年間で1位を7回獲得。山・川・海の自然に育まれた高知の豊かな食を、生産者の思いなど合わせて堪能していただく体験を提供。 独特の地理的条件に育まれた高知の風土は、牧野富太郎や多くの幕末志士たちを輩出してきた。今も県内各地に残る伝統や文化を見て、聞いて、学べる旅を提供。 極上の田舎、高知。 自然 食 歴史・文化		
KPI	①地域における観光消費額（+331億円） ②県外観光客入泊数（+129万人泊） ③アンテナショップの売上額（+1.52億円）		
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024071000200/ https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2021033000322/ https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/120901/2023042500046.html		

事業概要【「環境に配慮した森林由来の木材」という新たな価値の構築(土佐材認証制度)】

旧制度（推進）

申請者	高知県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	171,342千円（58,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・再造林の実施など環境に配慮した森林由来の木材という新たな価値を加えた高知県独自の土佐材認証制度を創設し、持続性等の確保された木材供給とそれを求めるマーケットをつなぐ仕組みの構築を図る ・認証木材の供給により、他産地との差別化を図り、山元への利益還元を目指す ・大径材を含む木材の利用を促進し、計画的な伐採・再造林を確実に行うことで、持続可能な木材産地の形成を図る		
事業概要・ 主な経費	○補助事業で得られる情報や仕組みを活かして認証制度を構築し、認証体制の確立に向けた準備を進める。併せて、認証制度の試験運用に向け、認証木材の流通管理等を行う情報システムを開発 ・土佐材認証制度構築・システム開発経費（委託料）35,000千円 ○認証木材の普及促進を図るため、県外で高知県産材を利用する工務店等に対して、高知県産材のPRに要する経費を補助。また、認証木材の流通体制の確保と効率化を図るため、県外において高知県産材の流通拠点となる事業者に対して、荷さばき等に要する経費を補助 ・PRに要する経費等（補助金）18,000千円 ○認証木材の持続的な生産に向けて、大径材の利用のための県内事業者による将来的な施設整備や製品の方向性を示す大径材利用戦略を更新 ・大径材利用戦略の策定経費（委託料）5,000千円 ●施主等のニーズ：持続可能な社会の実現に貢献したい 県産材が 持続可能性の担保された資源 から加工した 環境価値の高い建築材料 であることをアピールする仕組みが必要 ●新たな仕組みの検討 ⇒ 県産材に 環境に配慮した木材 という 新たな価値 をプラス R6：検討体制の整備等 → 情報管理システムの構築（R7予定） ●取組のイメージ 県産材の新たな需要を創出し、土佐材パートナー企業等の仕組みを使って展開		
KPI	①地域における農林水産出荷額（木材・木製品製造品出荷額）（+64.50億円） ②JAS製材品格付量（+11,000m3） ③システムの利用登録をした事業体数（+100社）		
※経費内訳はR7年度事業費	関連URL		
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/sanshin/		

事業概要【中山間地域の持続的な発展（人口減少対策促進事業）】

申請者	高知県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	762,882千円 (254,294千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- あったかい高知の「人」の魅力を発信する特別番組の制作・放送やUターンに関する情報発信、相談窓口の体制強化、若者や女性に向けたSNSでの情報発信を行い、関係人口を拡大する。 - 中山間地域の集落の活力向上や産業の活性化に向け、空き家・空き店舗を活用した出店などの取り組み支援、地域間交流につながるスポーツイベントの開催に取り組む。 - 地域生活での暮らしの不便解消に向けた取り組み等により人口減少対策を行う。 - 人口減少に適応した、持続可能な社会の実現（持続可能な社会の実現に向けた賢い縮小）を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 ①移住・定住対策 - 県内の「人」の魅力をフォーカスした情報発信 特別番組の制作・放送（委託料） 26,778千円 ②中山間地域の持続的な発展 - 若者の関心が高い新たなスポーツイベント等の開催 18,172千円 - 中山間地域における空き店舗や空き家等を活用した出店を行う事業者の支援 26,000千円 ③4Sプロジェクト（持続可能な社会の実現に向けた賢い縮小）の推進 - 遊休農地の解消や中古ハウスの確保に必要な経費を支援 6,006千円					   	
地域の多様な 主体の参画	商工会・高知県宅建業協会との連携による空き家の有効活用、福祉事業関係者による支え合いの地域づくりに向けた取組、県内企業との協働による地域産業の活性化にかかる取組により、地域における人口減少対策、移住・定住施策に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県外からの移住者数（年間）（+500人） ②県出身・県外大学生のUターン就職率（+2.2%） ③若年就業者数(15～34歳）（+710人） ④人口の社会増減（43人）

事業概要【高知の文化・自然を取り込んだ「どっぶり高知旅」キャンペーンの推進】

申請者	高知県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	4,472,469千円 (1,113,436千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	- 地域の暮らしや文化などを観光商品に育て上げるとともに、気軽に長期滞在が可能な宿泊施設等の受入態勢を整備し、中山間地域に新たな人の流れと経済効果を生み出すことで、地域での定住や若者の流出防止などにつなげ、持続可能な人口構造への転換を図る。 - あわせて、本県のインバウンド観光の要として、国際線受入に向けた高知龍馬空港新ターミナルビルを整備し、訪日外国人の県内消費額の増加を図り、本県経済の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 ・連続テレビ小説「あんぱん」放送に合わせた地域博覧会の開催 (補助金) 64,500千円 ・「極上の田舎、高知」をコンセプトとした観光商品づくり (委託料) 30,085千円 ・滞在型観光の推進に向けた分散型ホテルの推進等 (委託料) 21,202千円 ・「あんぱん」関連地域をはじめとした観光施設の磨き上げ等 (補助金) 26,991千円 ・個人客を中心とした台湾からの国際チャーター便誘致 (補助金) 40,000千円 ・インバウンド需要喚起に向けた海外でのプロモーション費用 (委託料) 60,500千円 ・新ターミナルビルの整備工事にかかる費用 (建築工事費等) 342,579千円					  どっぶりど級の極上田舎へ どっぶり高知旅 SUPER LOCAL KOCHI	
地域の多様な 主体の参画	市町村、各地域のDMOにて、県の観光プロモーション等の取組と協働したイベントの開催や、地域の観光事業者への支援を通じ、観光客の滞在延長や周遊促進の取り組みを行い、地域消費を増加させる。 空港関係事業者や二次交通事業者、商工会議所連合会等を連携し、新ターミナルビル整備によって増加するインバウンド客による消費拡大の取組を促進する。					KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	①県外観光客人泊数 (+41.9万人泊) ②観光総消費額 (+99億円) ③1旅行当たりの県内平均立寄数(年間) (高知市除く)(+0.6万人) ④外国人旅行客の県内消費額 (+31.33億円) ⑤外国人旅行客の県内延べ宿泊者数 (+8.1万人泊) ⑥高知龍馬空港の国際線利用者数 (+12.6万人)

事業概要【魅力ある仕事をつくり、若者の定着につなげるための「いきいきと仕事ができる高知」の実現】

申請者	高知県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,718,065千円 (559,841千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	働き方改革分野
目的・効果	・本県の強みを生かした林業や食品産業などを強化するとともに、地産外商を進めることにより、地理的ハンデが影響しない新たな産業の創出を進める。 ・若年層の増加を目指すため、都市部の若者を呼び込む施策を実施するほか、県内企業の採用力向上や若者が県内企業を知る機会を創出していく。 ・若者の定着・増加に向けて、起業の促進やデジタル化による生産性向上による県内賃上げ環境の推進、第一次産業や建設業における女性進出の後押し、多様な人材が働きやすい職場環境づくりを行う。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ①産業の創造 ・県産品の販売拡大に向けた取り組みの支援 124,364千円 ・商業集積地における空き店舗の活用促進 4,000千円 ・アニメ制作企業の雇用創出に向けた県内人材の育成支援（委託料）6,098千円 ②環境整備 ・付加価値向上による外商拡大や中核人材の確保等の取り組みの支援 30,000千円 ・県内企業の新事業創出につながる取組み支援 16,000千円 ③産業のデジタル化 ・スマート水産業への支援 97,458千円 ④県内就職の促進 ・企業の魅力やイベント等の就職関連情報の発信11,523千円						 	
地域の多様な 主体の参画	商工会や高知県地産外商公社との連携により、県内産品の販路開拓や事業者間の連携に対する支援を行う。 県外支店を持つ金融機関等による県外への広報や、大学が学生の就職を支援することにより、県内企業への就職希望者の受入れを促進する。 補助金等と合わせ、金融機関にて、対象事業の資金融資や経営相談を実施することにより民間事業者を支援する。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内におけるアニメ制作企業従事者数（+77人） ②県のサポートによる起業・新事業展開件数（+150件） ③県出身・県外大学生のUターン就職率（+2.7%） ④県内大学生の県内就職率（+10%）

事業概要【地域内経済循環の推進に向けた「地消地産」の強化】

申請者	高知県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	360,428千円 (141,420千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・エネルギーや食料品の分野において、県内での消費（地消）の拡大を通じた生産（地産）の強化を図り、県際収支の改善と県民所得の向上、農林就業者の確保を図る。 ・土佐和牛の認知度向上および県内需要の拡大を図ることで、地産の強化を目指し、供給力の強化を図る。 ・竹資源の利用拡大に向けた生産の強化を図り、中山間地域の収益向上を図る。 ・木質バイオマスの利用拡大により、県外産の石油・石炭等の電力から県産材由来の電力への転換を促すことで地産の強化、温室効果ガスの排出量の削減を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 【県産品の地消地産に関する事業】 ○土佐和牛のブランド化 ・飲食店や量販店での需要喚起、土佐黒牛取扱い指定店制度の導入、SNS等を活用した情報発信（委託料）19,745千円 ○竹資源利用拡大推進事業費補助金 ・余剰資源となっている県産竹材の利用を促進 8,800千円 【再生可能エネルギーの地消地産に関する事業】 ○木質バイオマス原料となる林地残材の搬出経費支援 ・補助金 31,543千円 ○木質バイオマス原料となる林地残材の搬出等に資する機械類の導入経費支援 ・補助金 80,332千円						
地域の多様な 主体の参画	県内の飲食店・量販店を巻き込んだ「土佐和牛」ブランド認知度向上による需要創出を価格上昇や土佐黒牛の増頭、地域の所得向上につなげる 上記の取組に加え、原材料の生産や搬出を行う生産者に対して、大学による消費開発支援や地域内経済循環に関する助言の機会の提供や、工業技術センター等による未利用材等を活用した製品開発支援を行うことで、事業者の所得向上や新規農林就業者の増加等を図る					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新規就農者数（+80人） ②新規林業就業者数（+9人） ③温室効果ガスの総排出量（-1,140千t-CO2）

事業概要【結婚や子どもを生み、育てたいという希望をかなえるための「いきいきと生活ができる高知」の実現】

申請者	高知県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	410,596千円 (143,230千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	持続可能な人口構造へ転換することを目指し、若年人口に焦点を当てた本県の人口減少対策のマスタープラン「高知県元気な未来創造戦略」に基づき、デジタル技術を活用した生産性の向上やこれまで男性中心の職場であった業種への女性の進出支援、出会いの場の創出や結婚サポートを充実による婚姻数の増加の取り組みなどに取り組んでいく。これらの取り組みに加え、地域に根強く残る固定的な性別役割分担意識の解消を図り、「共働き・共育て」をオール高知で進めていく。						
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	①働きやすい職場環境づくりの推進 ・性別役割分担意識の解消と共働き・共育てを推進するためのプロモーションの実施 9,900千円 ②女性・若者を中心とした雇用促進 ・女性の水産職場モデルの構築 11,315千円 ・建設業における女性活躍の場拡大のための建設ディレクター導入支援 1,650千円 ③出会い・結婚・出産に係る支援制度の充実 ・婚活イベント等を行う団体への支援11,600千円 ・自然な出会いの場につながるイベント等をまとめた専用サイトを構築し、若者の参加促進と交流を図る 20,479千円						
地域の多様な主体の参画	市長会・町村会、大学、こうち男女共同参画社会づくり財団等を構成員とする委員会と共同で、県内企業や一次産業における働きやすい職場環境づくり、女性・若者を中心とした雇用、職場環境の整備、男性の育休取得促進、結婚意識の醸成を促進する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①婚姻件数（+311組） ②出生数（+479人） ③県内企業における男性の育児休業取得率（48.2%） ④ワークライフバランス推進延べ認証企業数（+418社） ⑤女性の管理職割合（+13%）

事業概要【外国人材・多文化共生事業】

申請者	高知県						初回採択回	令和7年度第1回募集																																																																		
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	96,683千円 (35,685千円)																																																																		
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	地方への人の流れ分野																																																																		
目的・効果	・「第2期高知県外国人材受入・活躍推進プラン」に基づき、賃金水準が都市部に比べて相対的に低い本県が「外国人材から選ばれる高知県」となるために、受入促進として東南アジアを中心とした国々とMOUを締結するなど送り出し国との連携を強化していくとともに、定着促進として住宅の確保や日本語教育の充実、外国人の生活相談対応などを通じて、外国人材が「暮らしやすい・働きやすい・学びやすい」環境づくりを進めていく。																																																																									
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	①受入促進に向けた取組 ・外国人雇用相談窓口事業委託料 7,139千円 ・高度外国人材等と事業者のマッチング支援 5,436千円 ②定着促進に向けた取組 ・共生社会づくり事業費補助金 (外国人向け交流イベントの開催や専門家派遣に係る経費などを補助) 10,500千円 ・アドバイザー・サポーターの設置（民間企業の管理職等に必要性を伝えるなど） 1,925千円 ・日本語学習支援事業委託料 5,499千円 ③諸外国との友好関係発展の取組 ・国際友好交流の推進 5,186千円						<table><caption>外国人労働者数と雇用事業所数の推移 (H26～R5)</caption><tr><th>年度</th><th>在留資格 (人)</th><th>特定技能 (人)</th><th>技能実習 (人)</th><th>専門的・技術的分野の在留資格 (人)</th><th>雇用事業所数 (事業所)</th></tr><tr><td>H26年</td><td>1,620</td><td>843</td><td>0</td><td>0</td><td>485</td></tr><tr><td>H27年</td><td>1,773</td><td>942</td><td>0</td><td>0</td><td>508</td></tr><tr><td>H28年</td><td>2,100</td><td>1,143</td><td>0</td><td>0</td><td>583</td></tr><tr><td>H29年</td><td>2,414</td><td>1,405</td><td>0</td><td>0</td><td>646</td></tr><tr><td>H30年</td><td>2,592</td><td>1,534</td><td>0</td><td>0</td><td>725</td></tr><tr><td>R元年</td><td>3,141</td><td>1,972</td><td>1</td><td>0</td><td>827</td></tr><tr><td>R2年</td><td>3,473</td><td>2,209</td><td>27</td><td>0</td><td>885</td></tr><tr><td>R3年</td><td>3,391</td><td>2,053</td><td>116</td><td>0</td><td>913</td></tr><tr><td>R4年</td><td>3,783</td><td>2,112</td><td>334</td><td>0</td><td>1,017</td></tr><tr><td>R5年</td><td>4,510</td><td>2,377</td><td>682</td><td>0</td><td>1,106</td></tr></table> ※高知労働局「外国人雇用状況の届出状況」をもとに作成（各年10月末の数値）		年度	在留資格 (人)	特定技能 (人)	技能実習 (人)	専門的・技術的分野の在留資格 (人)	雇用事業所数 (事業所)	H26年	1,620	843	0	0	485	H27年	1,773	942	0	0	508	H28年	2,100	1,143	0	0	583	H29年	2,414	1,405	0	0	646	H30年	2,592	1,534	0	0	725	R元年	3,141	1,972	1	0	827	R2年	3,473	2,209	27	0	885	R3年	3,391	2,053	116	0	913	R4年	3,783	2,112	334	0	1,017	R5年	4,510	2,377	682	0	1,106
年度	在留資格 (人)	特定技能 (人)	技能実習 (人)	専門的・技術的分野の在留資格 (人)	雇用事業所数 (事業所)																																																																					
H26年	1,620	843	0	0	485																																																																					
H27年	1,773	942	0	0	508																																																																					
H28年	2,100	1,143	0	0	583																																																																					
H29年	2,414	1,405	0	0	646																																																																					
H30年	2,592	1,534	0	0	725																																																																					
R元年	3,141	1,972	1	0	827																																																																					
R2年	3,473	2,209	27	0	885																																																																					
R3年	3,391	2,053	116	0	913																																																																					
R4年	3,783	2,112	334	0	1,017																																																																					
R5年	4,510	2,377	682	0	1,106																																																																					
地域の多様な 主体の参画	既に外国人材を雇用しているモデルとなる事業者の事例等を紹介する事業者向けセミナーを開催し、県内での取組の横展開を図る。 大学や専門学校において、留学生を対象に、事業者とのマッチングイベント（合同企業説明会）への参加を支援し、県内への就職を促進する。 金融機関や行政書士会と連携し、県内事業者から寄せられた外国人材の雇用に関する課題や意見を収集し事業へ反映させる。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内で就労する「技能実習」及び「特定技能」の外国人労働者数（+705人） ②外国人材に対する高度外国人材（在留資格「技術・人文知識・国際業務」）の割合（+60人）																																																																		

事業概要【魅力ある教育の推進による人材育成・地域活力の向上】

申請者	高知県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	153,231千円 (51,077千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・「第3期教育等の振興に関する施策の大綱」・「第4期高知県教育振興基本計画」に基づき、以下の取り組みを実施する。 ・生まれ育った地域や高知県の魅力を若い段階から知ってもらい、将来のUIターンを含む若者の県内定着につなげるため、地域への理解と愛着を育むためのキャリア教育を実施する。 ・中山間地域の県立高等学校への入学増につなげるため、市町村等と連携して魅力化・特色化を図る取組を実施するとともに、全国からの生徒募集の取組を強化する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	①キャリア教育の推進 ・キャリア教育協力企業データベース作成委託料 2,498千円 ・学校ぐるみで地域の伝統行事や産業の継承等に取り組む活動を支援・推進 15,000千円 ③市町村等と連携して中山間地域の小規模校の魅力化・特色化を図るとともに、全国からの生徒募集の取組を強化 ・PR動画作成等委託料 1,375千円 ・地域みらい留学参加支援 10,588千円 ・県立高等学校魅力化推進アクションプランに基づく取組 9,750千円					 こうち留学 応援キャラクター ファイトさん。 こうち留学 応援キャラクター フレイさん。	
地域の多様な 主体の参画	県教育委員会にて、高校生が県内の産業・文化を体験するとともに経営者等と意見交換等を行う機会の提供を行う。 市町村、各教育委員会にて小中学校におけるキャリア教育に取り組み、県内企業に協力してもらい、生徒が産業を知るための企業見学・体験活動等の充実を図る。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内高校生の県内就職率（+5.3%） ②地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒（肯定的回答）の割合を増加させる（+6%） ③地域みらい留学等を活用し、県外から県立高等学校へ入学した生徒数（+51人）

事業概要【シェアオフィス整備事業】

申請者	高知県室戸市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	316,540千円 (131,830千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	・廃校を活用し、新たなビジネスを応援する交流と共創の拠点となるシェアオフィスを整備 ・市内外から地域資源を活用する企業を誘致するとともに、新たに起業をするための支援を強化 ・若者に魅力ある雇用の場の創出につなげ、交流人口・関係人口の増加により、地域経済の活性化を図る						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 室戸市内に廃校を活用し、新たなビジネスを応援する交流と共創の拠点となるシェアオフィスを整備することで、市内外から地域資源を活用する企業を誘致するとともに、新たに起業をするための支援を強化し、若者に魅力ある雇用の場の創出につなげ、交流人口・関係人口の増加により、地域経済の活性化を図る。 【拠点整備事業経費】 ○シェアオフィスを整備 ・実施設計委託 13,000千円 ・改修工事費 64,100千円 ・設備工事 48,250千円 【ソフト事業経費】 ・シェアオフィス推進事業（室戸市にある地域資源の活用や地域課題の解決に向けたディスカッションや体験型セッションなどの実施） 6,480千円						
地域の多様な 主体の参画	地元住民が主体的に住民参加型イベントの開催や地域住民の意見収集を行うとともに、高校生や大学生においては入居企業との交流イベントの企画に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者数（+660人） ②施設利用者数（+5,700人） ③施設利用企業数（+10社）

事業概要【室戸岬観光拠点施設整備事業】

申請者	高知県室戸市					初回採択回	令和7年度第1回募集								
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	260,667千円 (197,656千円)								
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野								
目的・効果	本市の観光名所である室戸岬の突端に、観光案内所、物販、飲食施設、展示室等の機能をもった「観光施設」を整備し、地元製品の販売や案内機能を強化することにより、来訪者の滞在長期化や周遊促進を図る。														
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 室戸岬の先端において、観光拠点施設を整備することで滞在期間の長期化や室戸岬への周遊を図り、拠点施設から市内の飲食店や宿泊施設への誘客を促進する。また、悪天候でも屋内の展示室でガイドの事前説明等を行うことで施設の利用価値を高めていく。 【拠点整備事業経費】 <table><tr><td>建築工事費</td><td>105,665千円</td></tr><tr><td>電気・機械・昇降機設備工事</td><td>63,492千円</td></tr><tr><td>通路・造園工事</td><td>4,343千円</td></tr><tr><td>解体工事</td><td>24,156千円</td></tr></table>					建築工事費	105,665千円	電気・機械・昇降機設備工事	63,492千円	通路・造園工事	4,343千円	解体工事	24,156千円		
建築工事費	105,665千円														
電気・機械・昇降機設備工事	63,492千円														
通路・造園工事	4,343千円														
解体工事	24,156千円														
地域の多様な 主体の参画	地元団体等で構成される施設整備検討委員会を立ち上げ、来訪者目線で利活用方法に関する意見をまとめ、事業内容への繁栄に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①室戸市観光入込客数（+340千人） ②観光総消費額（+362百万円） ③移住者数（+550人）								

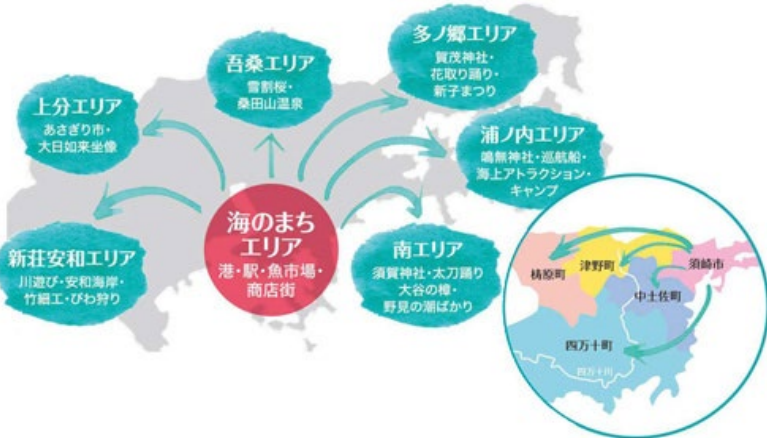
事業概要【旧安芸市役所庁舎跡地活用による新たなにぎわい創出事業】

申請者	高知県安芸市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	75,700千円 (26,900千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- 地域における産官学金が連携して、商店街だけでなく、地域全体を巻き込みながら商店街等の活性化に向けた取組を進めており、旧市庁舎跡地を活用して新たな賑わい創出につなげることで、施設の周辺地域のみならず、将来のまち全体の活性化に寄与することを目指す。 - また、中心市街地のまちづくりの指針となる都市再生整備等の計画策定を行うとともに、跡地には民間ノウハウを活用し、官民協働で取り組むことによって、中心商店街とも連動させたまち全体へ波及するような新たなにぎわいの創出による地域活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○旧市庁舎跡地活用事業アドバイザー業務 ・PFI手法推進のためのアドバイザー委託料 16,800千円 ○中心商店街活性化のための支援 ・空き店舗出店家賃補助金 600千円、 ・チャレンジショップ等運営補助金 2,000千円 ・経営アドバイザー等補助金 1,000千円 ・イベント開催補助金1,500千円 ・空き店舗バンク運営委託料・報償費ほか 500千円						
地域の多様な 主体の参画	旧市庁舎跡地活用による魅力化によって、市内外からの利用者呼び込むとともに、商店街の振興による新たな人の流れの創出につなげるなど、有機的に連動するまちづくりを推進するため、地元商店街振興組合や商工会議所など地域団体との連携を強化・促進する。 また、複合施設整備にあたって、官民連携に精通した有識者と連携し、跡地周辺を巻き込んだ一体的なまちづくりのトータルコーディネートに取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①中心商店街等振興区域人口 (+6人) ②中心商店街への市外からの休日通行量 (土日1回) (+250人) ③中心商店街でのイベント集客数 (+500人) ④中心商店街での出店数 (+8件) ⑤空き店舗バンクへの掲載物件数 (+24件) ⑥中心商店街でのイベント回数 (+3回)

事業概要【須崎の魅力広域展開推進事業】

旧制度（推進）

申請者	高知県須崎市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	212,674千円（50,023千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・中心市街地から各地域へといった面的な流れを生む ・「海のまち」を起点に様々な観光振興策を実施し、須崎市全域、高幡地域全体へと波及効果を生み出す ・既存の地域資源及び施設については、新たな価値を生み出すことによりブランド化を推進する ・農産物や魚など食をはじめとした他の資源と融合させるなど、さらなる魅力度向上を図る		
事業概要・ 主な経費	○須崎の魅力発信事業（ドローンをはじめとしたデジタル技術を活用し、須崎の魅力を発信） ・ドローン委託料（1,000千円） ○「海のまち」活性化推進事業 ・文化的活動推進委託料（14,316千円） ・「海のまち」推進事業補助金（20,130千円） ○人と人が行き交う活力あるまちづくり事業 ・広域的観光振興経費及び須崎市観光協会、奥四万十観光協議会連携事業補助金等（14,577千円）		
KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①多様な観光資源を活かした交流人口の拡大（+735人） ②中心市街地以外でのイベント・催し来場者数（+1,500人） ③須崎市街地主要施設来場者数（+5,000人） ④観光入込者数（+133,804人）	関連URL	https://www.city.susaki.lg.jp



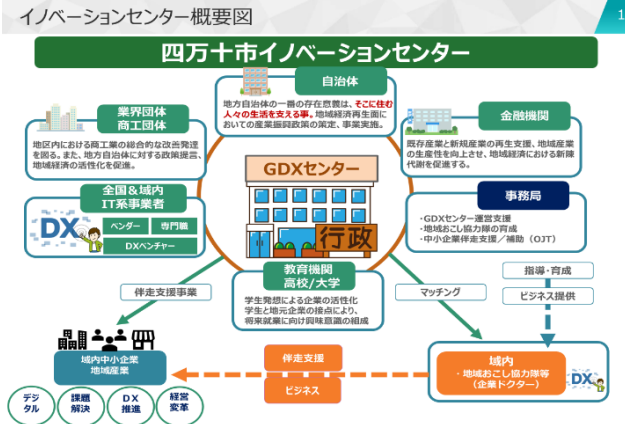
事業概要【須崎市の流入人口増加を目指すオンリーワンの（仮称）すさきスケートパーク整備事業】

申請者	高知県須崎市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,154,572千円 (1,154,572千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・各世代の多様性を包括するスケートパークを新設することで若年層を中心とした流入人口の増加を促進し、観光資源の多様化、広域からの集客による地域への経済効果、地域コミュニティの活性化、メディア露出の増加による地域ブランディングへの貢献、そして市民の健康増進といった多方面での効果が期待される施設整備を行う。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 ・アクションスポーツ向けの施設を新設し、自然や歴史を楽しむ層だけでなく、アクティブなスポーツ観光に興味を持つ若者や家族連れもターゲットとしていく。 ・パーク内を見学できる遊歩道を外周に設置、また小さい子供でも楽しめるボルダリング、スラッグラインの設置など、年代を問わず多くのニーズに対応できることに加え、それぞれのレベルに合わせゾーニングすることで初心者が利用しやすい環境づくりを行い、利用促進、新たな利用者の増加に繋げる。 【拠点整備事業経費】 ○（仮称）すさきスケートパークの新築整備 ・施設整備 1,154,572千円 （建築物本體工事）489,308千円 （施設整備・用地造成）665,264千円						
地域の多様な 主体の参画	プロモーションと集客における協働として、NPO法人日本スケートパーク協会、一般社団法人須崎市観光協会等と連携を促進する。 地元愛好者（SLS（すさきローカルスケーターズ））を中心にルールづくりや美化活動等、世代間交流を促し、地域コミュニティの活性化を推進することで、流入人口の増加に繋げる。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域への経済波及効果（観光消費額） （+82,965,395円） ②年間来場者数（+31,789人） ③イベント開催数、参加者数（+4,850人）

事業概要【土佐清水市教育振興交流施設整備事業】

申請者	高知県土佐清水市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	395,000千円 (395,000千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・少子高齢化が進む本市は、地元産業の後継者不足が課題となっており、人口減少の抑制を図る必要がある。 ・まずは交流人口の拡大を目指し、若者に本市に残ってもらう、本市外から人を呼び込み定着させることを目標とする。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【建築工事】：272,311千円，設計管理委託：3,058千円 2階建鉄筋コンクリート造校舎の改修工事に係る内装工事費(解体含む)、外装工事 2階（25人収容）、平屋建部分（30人収容）を宿泊施設として改修する 1階部分を宿泊者向け食堂、地域交流スペース（NPO事務所含む）、e-sports施設、アニメまんが図書館、として整備し、外国人向けの日本語教室としても利用可能とする。（NPO法人含め98人収容） 【電気設備工事】：38,824千円 改修工事に係る照明、配線工事 照明器具のLED化、新規設備への電気配線、全室へのWi-Fi整備 【機械設備工事】：59,477千円 改修工事に係る給排水、衛生、空調工事 全室へのエアコン整備、宿泊施設への浴室、便所、洗濯等水回り関連整備、 1階食堂整備、既存便所の改修 【備品購入費】：21,330千円 計：395,000千円							
地域の多様な 主体の参画	NPO法人と連携して宿泊型多文化共生コミュニティ施設の運営、留学生（生徒）の生活全般の見守りを行う。 清水高等学校と連携し、本施設のPR,教育の魅力化推進に係る地域課題や探究学習の推進、地域住民も含めた本施設の立地特性を活かした防災学習を実施する。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのIターン・Uターン数（+14人） ②清水中学校から清水高校への進学率（+10%） ③地域外の新入生を含む入学人数（+10人） ④34歳以下の市内在住者数（+24人）

事業概要【四万十市産業イノベーションセンター設置事業】

申請者	高知県四万十市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	97,062千円 (17,129千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・市内中心市街地商店街に産業イノベーションセンターを設置し、地元企業へD・GXや可視化経営のためのセミナー・情報提供・マッチング等を伴走型支援より実施し、経営の変革による産業の活性化を図る。 ・市内学校と連携し、地元企業と学生との交流機会や地域課題をともに考える場を創出することにより、人財育成と地元愛着心を向上させ、若い世代の雇用創出や定住を促す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 ・市場分析（産業、経済、人流） ・DX等先端ツール、ノウハウの体験機会の提供・案内 ・DX・GX・可視化経営を推進するためのセミナー、イベント、人財育成研修等の開催 ・経営改善（DX含む）相談、サポーター企業とのマッチング ・DX推進、経営改善に関する伴走支援 ・人財交流のためのカフェサロン開設（学生対象） 【ソフト事業経費】 ○センター運営委託料 13,881千円 ○借上げ料 2,214千円					 イノベーションセンター概要図 四万十市イノベーションセンター 自治体 業界団体 商工団体 金融機関 事務局 DX 全国&域内 IT系事業者 DX推進 DXベンチャー GDXセンター 行政 教育機関 高校/大学 学生発想による企業の活性化 学生と地元企業の接点により、 町場経済に向け興味意欲の醸成 伴走支援事業 伴走支援 ビジネス 地域内・域内 ・地域おこし協力隊等 (起業ドクター) DX デジタル 課題 解決 DX 推進 経営 変革 連携・育成 ビジネス提供 既存産業と新規産業の再生支援、地域産業の生産性を向上させ、地域経済における新機軸創出を促進する。 DXセンター運営支援 ・地域おこし協力隊の育成 ・中小企業伴走支援/補助 (OJT) 地区内における商工業の総合的な改善発展を図る。また、地方自治体に対する政策提言、地域経済の活性化を促進。 地方自治体の一層の存在意義は、そこに住む人々の生活を支える事。地域経済再生策においての産業振興政策の策定、事業実施。	
地域の多様な 主体の参画	・商工会議所・金融機関と連携し、地元企業等へのセンター利用や課題に即した伴走支援の促進を図ることで企業の持続的成長に寄与するとともに、企業人材・支援人材の育成も実施する。 ・教育機関とは、授業及び課外活動等で生徒の事業参画を促し、若い人材のアイデアによる企業の活性化や、企業と学生との交流機会の創出を通じて、地域への帰属意識や貢献欲求を醸成することで、将来的な地元就労につなげる。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①経営指標改善（前年度比）達成した企業数（+90社） ②面談数（+200社） ③会員（無料）登録数（+375社） ④経営診断ツール登録もしくはDX/GX着手企業数（+180社） ⑤マッチング成立件数（+90回） ⑥各種イベント実施回数（+8回）

事業概要【中山間地域フルリモート支援事業（きづなパートナー）】

申請者	高知県四万十市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	62,074千円 (12,426千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	オペレータが完全フルリモートで被支援者宅のデジタル端末を操作することで、高齢者等のデジタル弱者でもデジタルのサービス（買い物、家族との交流、健康チェック、自治体サービス等支援）を受けることが可能となり、生活利便性やコミュニケーション向上によるフレイル予防、ひいては地域全体の活性化を図る。 また、支援に係るサービスを地元の企業のコンソーシアムで提供することで、地産地消の消費や地域人材の雇用促進、さらには高齢者を支援する団体の負担軽減にもつながる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 ・タブレット端末を設置し、健康チェックや買い物支援などの日常生活支援サービスをオペレーターが提供 ・定期的な面談による安否確認やコミュニケーション不足の解消 ・地元企業との連携による地産地消促進 ・地域人材をオペレーターとして雇用し、地域経済への貢献 【ソフト事業経費】 ○運営委託料 12,426千円					高齢者リモート支援サービス概要（デジタルが触れない人向け） 「きづなパートナー」概要 緊急時 ワンタッチ で緊急発進 が可能 ※接続ログ、動画（音声＋画面）による記録あり	
地域の多様な 主体の参画	・道の駅と連携し、EC提供、商品販売や、会場場所の提供を行うことでサービス利用者の生活利便性向上を図る。 ・社会福祉協議会や集落支援員との連携により、オペレーションや業務を行う中で支援が必要な住民の情報提供やニーズを吸い上げ、現場目線での改善を通じて事業効果の向上を目指す。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①サービス利用者数（+100人） ②オペレーター従事者数（+9人） ③オペレーター代行によるEC購買数（+190回） ④サービス利用者同士のオンラインコミュニティの開催（+756回）

事業概要【（仮称）四万十市新食肉センター整備事業】

申請者	高知県四万十市ほか 6 自治体※						初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	5,543,605千円 (144,410千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業		事業分野	農林水産分野
目的・効果	・四万十市営食肉センターは、県内唯一の「豚のと畜施設」であり、本県の畜産振興、幡多地域の雇用の創出など、広域的な役割を果たしているが、老朽化が著しく早急な建替えが必要となっていることから、新食肉センターの整備を行い、受入体制を強化し、高度な衛生管理のもと品質の向上につなげ、生産・加工・販売の好循環を形成し、さらなる畜産の振興を図る。また、畜産振興だけでなく、幡多地域における雇用の場の維持・拡大につながる。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 と畜処理能力の向上並びに販売競争力の強化に向け、と畜解体方法は中四国地方では初となる「湯剥方式」を採用し、製品の付加価値向上につながるとと畜解体サービスの提供を通じて、県内産豚のブランド向上を図り、販路の確保・拡大につなげることで、生産・加工・販売の好循環を形成し、さらなる畜産振興並びに雇用の創出を実現する。 【拠点整備事業経費】 ・建築物整備（実施設計）：144,410千円							
地域の多様な 主体の参画	民間事業者と連携し、と畜頭数の確保やブランド力向上に取り組むとともに、関係自治体との連携により県内産豚の増頭計画及び販路拡大を推進する。 また、経営面や事業展開について関係団体の多角的な視点からの助言を受けることで持続可能かつ安定した経営につなげる。						KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①食肉センターにおけると畜頭数 （+29,620頭） ②食肉センター関連事業者を含めた雇用者数 （+10人） ③県内出荷頭数 （+8,402頭）

※四万十市、高知県、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、四万十町の広域連携事業（追加連携自治体予定：三原村、奈半利町）

事業概要【南四国アイランド活性化事業】

旧制度（推進）

申請者	高知県東洋町、徳島県海陽町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	37,052千円（11,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	生活圏を同じくする高知県東洋町と徳島県海陽町との広域連携を図り、「まち・ひと・しごと総合戦略」の計画・事業を推し進め、地域特性と地域課題を同じくする分野の広域的発展に資する施策への拡大を目指す。両町の観光業が発展することにより、農業や漁業など地域の雇用が生まれ、両町の地域住民全てが生涯にわたって活躍できる地域社会づくりや、関係団体の活動促進による地域コミュニティの強化を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【1. DMVを主軸とした観光推進に係る事業の実施】 DMVの情報発信活動を行うことにより、DMV乗車数の増加に結びつけると共に、デジタルスタンプラリーのイベントを実施する ・デジタルスタンプラリーの実施委託料：500千円 ・世界初DMV情報発信PR活動経費：1,000千円 【2. 新たな観光資源の発掘調査の実施】 動画配信サービスなどで放映できる映像の作成やデジタル図鑑の制作を行う。WEB図鑑化や動画の作成。 ・デジタルコンテンツ作成経費：10,000千円		
KPI	①阿佐海岸鉄道DMV乗車数（+5,300人） ②道の駅東洋町来客数（+36,000人） ③道の駅穴喰来客数（+105,000人） ④海洋自然博物館マリンジャム入込客数（+12,500人）	関連URL	高知県東洋町、徳島県海陽町HPにて11月頃までに公表予定



事業概要【交流～関係人口拡大を目的とした白浜エリア一帯の魅力化にかかる複合拠点整備事業】

申請者	高知県東洋町						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	268,426千円 (268,426千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業		事業分野	観光分野
目的・効果	・海・山の豊かな自然を活用した滞在型、体験型の施設整備を図り、エリア滞在価値の高い事業を確立する。 ・地域資源を活かした各種体験プログラムを展開し、確立させることで、既存観光客の滞在時間の延伸を図る。 ・既存の道の駅や本事業で整備する拠点施設の活用を通じて、これからの地域づくりを担うことのできる人材の育成を図る。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 通過型観光から滞在型観光へのシフトを主目的として、白浜地域に海・山の豊かな自然を活用した滞在型、体験型の複合施設を整備 【拠点整備事業経費】 ○施設名称：東洋町休養村管理センター ・建築物整備費 197,461千円 ・備品整備費 1,760千円 ○施設名称：東洋町白浜グランピング ・建築物整備費 46,399千円 ・設備整備・用地造成費 7,579千円 ・備品整備費 4,359千円 ○効果促進事業（ソフト事業）経費 ・効果促進事業費 10,868千円						  	
地域の多様な 主体の参画	【産】では指定管理者【官】東洋町、そして【学】では地元小・中学校、その他にも地銀や地域おこし協力隊、そして地域住民からの意見を吸い上げ、情報提供を求めるため、地域の自治会にも参画してもらう。白浜エリアの関係者が一丸となり、地域内での連携を促進する。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①白浜エリア観光入り込み客数（+6,150人） ②白浜エリア一体における町有管理施設観光売上（+9,900万円） ③地域ならではの体験プログラム等の商品創出数（+12個） ④拠点施設の運営および体験プログラムの造成にかかる担い手確保（+4人）

事業概要【定住人口の拡大に向けた「北川村暮らし」推進事業】

申請者	高知県北川村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	60,873千円 (18,791千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	- 定住に向けたハードルを解消し、定住率の向上を目指すため、地域に満足して生活し続けられるよう、就労支援、地域の魅力再発見、地域間交流等の事業を実施し、定住率の向上を目指す。 - 住む人が村に誇りをもって満足して暮らせるような「北川村暮らし」の推進を図り、より魅力ある地域となることで、村内の人材の流出を抑制し、持続的に村が存続できるよう、施策を推進する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○新規就労・就農支援事業（補助金） - ゆずの新規就農者の経営支援（補助金）：7,500千円 - 起業スタートアップ支援（補助金）：2,000千円 ○コミュニティサポート事業 - 地域交流の場づくり・支援（報酬・需用費）：3,560千円 - 地域住民相談窓口の設置（報酬）2,690千円 ○地域の魅力再発見事業 - 地元小中学生による地域資源を活用した地域の魅力化事業（補助金）：1,512千円 ○移住へのきっかけづくり事業(委託費・需用費等)：1,529千円						
地域の多様な 主体の参画	地元企業と連携した移住者が働きやすい環境の整備や移住者や地元住民で構成された組織と連携して、地域住民間との交流促進により、移住から定住へとつながる仕組みを構築していく。 併せて地元企業にて運営している、地域の観光資源のさらなる魅力化を図り、村内の人材流出の抑制を図る。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者の定住率（+6%） ②移住者数（+36人） ③地域交流イベント参加者数（+25人）

事業概要【「中山間地域における持続可能な農業構築」～包括的な施策による農業所得の向上～】

申請者	高知県北川村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	94,589千円 (32,163千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・村の基幹産業であるゆず農家の後継者・新たな担い手を確保し、ゆず農家として、早くから安定した収入を得て生活できる環境構築のため、ゆずの生産・品質及び販売力の強化を図る。 ・本村のゆずの特徴・魅力等を効果的に発信し、観光やふるさと納税といった事業と絡め、さらに多くの人の目に触れ、北川村として一体的にPRしていくことで、国内外に向けてゆずの販売促進を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○ゆずの生産性・品質等の向上事業 スマート農業等による、隔年結果を抑制し、安定的な収穫量と品質を確保することにより所得向上へとつなげる ・スマート農業導入経費（委託費・使用料）：7,364千円 ・ゆず栽培促進事業：2,340千円（補助金） ・路面情報収集技術確立事業：3,500千円（需用費） ○販売力の強化に関する事業 新たな販路の拡大や北川村ゆずの知名度向上等により、販売量の増加による所得の向上を目指す ・販路の拡大事業：3,250千円 ・ブランド力の強化：9,209千円						
地域の多様な 主体の参画	大学研究機関と連携してスマート農業等で得たデータの有効活用や高知県農業協同組合と連携した技術指導等により、生産量の安定化や品質向上に取り組み、出荷量を拡大させる。また、地元企業と連携したゆず製品の加工やゆずのブランディング化による輸出等を含めた新たな販路の開拓により、農業所得の向上を図る。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①青果出荷量(JA出荷+系統外出荷)(+150トン) ②輸出货量(+39トン) ③ゆず関連イベント参加者数(+4,200人)

事業概要【四国の真ん中で広域観光戦略創出事業】

旧制度（推進）

申請者	高知県本山町ほか3自治体	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	79,790千円（15,958千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・嶺北4町村で連携し、「一般観光」「教育旅行」「農都交流」「国際観光」の4つの分野において交流人口の拡大による地域の活性化を図る。 ・観光関連事業による地域経済の活性化や雇用創出を推進するため、継続的にその事業を統括していく組織のDMO機能の充実を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 (1)観光広域連携組織「一般社団法人土佐れいほく観光協議会」のDMO機能の充実 ①広域エリアの広報・情報発信窓口の確立（負担金） 8,019千円 ②マーケティング調査 100千円 ③地域イベント支援（負担金） 1,000千円 (2)広域観光情報発信の推進（負担金）3,287千円 (3)観光旅行商品の造成とブラッシュアップ、営業活動の推進 ①観光コーディネーター業務委託（負担金） 1,000千円 ②旅行会社等へのセールス（負担金） 1,195千円 ③商談セールス用リーフレット等の作成（負担金） 400千円 ④旅行商品の定着・磨き上げ（負担金） 250千円 (4)観光人材育成事業（負担金）707千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①域内(4町村)主要観光施設入込客数（+234,000人） ②旅行商品造成数（+65本） ③域内(4町村)主要宿泊施設宿泊者数（+15,000人） ④民泊受入世帯数（+21世帯）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://tosareihoku-kanko.com/ （効果検証） 調整中

※本山町、大豊町、土佐町、大川村の広域連携事業

事業概要【“未来”に向けた産業と技術革新の基盤形成事業～テレワーク拠点を核とした
関係人口の創出・拡大～】

旧制度（推進）

申請者	高知県土佐町	初回採択回	令和4年度第1回
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	164,400千円（39,850千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	本事業は、地域の産業構造の偏りを是正するため、地域における起業や新事業の創出を拡大していく上で、地域内外が交わる拠点を設けるものである。都市圏住民や企業との連携を通じて土佐町に新たな産業や技術革新の基盤を形成することを目指すと同時に、それらを単なる関係人口形成に留めず、そうした産業創出の担い手や、そこで雇用される人材の移住促進（Uターンを含む）にも繋げ、土佐町の創生を実現する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○土佐町テレワーク拠点設置事業 委託料9,500千円 古民家「大屋敷」を活用して、土佐町中心部にサテライトオフィスを設置する。また、利用拡大に向けて、大企業社員等を対象にしたビジネストレーニングや集客及び情報発信に取り組む。 ○第1次産業との連携 委託料7,500千円 第1次産業現場で一定期間インターンシップや体験等に取り組む機会を設けることにより、関係人口と第一次産業との接点をつくる。 ○移住相談機能の強化 委託料12,350千円 移住やUターン希望者への対応、関係人口への地域との関わりのコーディネート、空き家等のマッチング等、移住希望者や関係人口を対象にした相談支援を行う。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①サテライトオフィス等施設の利用者数（+18,760人） ②都市圏企業等と連携した新たな事業の創出件数（+19件） ③新たな雇用者数（+80人） ④若者世代（40代以下）の年間移住者数（+200人）	関連URL	https://ohyashiki.studio.site/

事業概要【「水と森は、ひとつに」環境と経済の持続可能な発展を両立する
広域中間支援組織を軸とした地域循環共生圏”の実現】

旧制度（推進）

申請者	高知県土佐町ほか4自治体	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R10年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	708,227千円（197,687千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	高知県嶺北地域と香川県高松市は、相互に連携を進めることにより、地方創生として下記の将来像を目指す。 （1）環境的な強みを持つ中山間地域と、経済的な強みをもつ都市地域が、相互に補完し合う“地域循環共生圏”の実現 （2）森林の多面的価値の最大限発揮に向けた、持続可能な森林関連産業の構築 （3）持続可能なかたちで環境的サービスが提供される仕組みが構築され、都市地域への水の安定供給やゼロカーボンが実現		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○一般財団法人もりとみず基金による中間支援機能の発揮 地域の持続可能な発展を実現する仕組みとして一般財団法人を運営 13,500千円 ○林業人材の育成 広域的に林業人材の育成に向けた研修等を実施 32,600千円 ○森林関連産業の創出 森林関連産業の起業や新事業創出を推進 13,000千円 ○環境的サステナビリティの達成に向けた市民の行動変容に繋がる取組の実施 水源学習や森林環境教育の実施 6,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口数（林業及び森林関連産業の就業を通じた人口の社会増）(+100人) ②林業総収入(+11億1,025万円) ③再造林率（+32%） ④一般財団法人もりとみず基金の寄附受領額（+4,300万円）	関連URL	https://www.moritomizu.org/

※香川県高松市、高知県大豊町、本山町、大川村、土佐町の広域連携事業

事業概要【土佐町スポーツ・健康まちづくり事業】

申請者	高知県土佐町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	76,520千円 (25,640千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・中山間地域における「人口規模の縮小」と「住民ニーズの多様化」という構造的課題に対し、地域スポーツコミッションを核に、地域スポーツクラブ等のスポーツ環境構築とスポーツウェルネスの融合による相乗効果の創出、さめうら湖等の地域資源を活用したツーリズム展開による収益構造の確立、フィールド医学の知見を活用した科学的アプローチの導入により、持続可能なスポーツ健康まちづくりのモデルを構築する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○地域スポーツ環境構築事業 13,190千円 ・スポーツ指導者確保推進事業 ・地域スポーツ振興事業 ・スポーツ合宿誘致補助金 ○スポーツウェルネス推進事業 5,200千円 ・スポーツウェルネス推進事業プログラム調査及び試行実施 ○エコ・ツーリズム推進事業 7,250千円 ・サステナブルツーリズム推進補助金 ・エコツーリズムイベント開催委託料 ・ふるさと教育事業体験手数料					カヌー競技振興 × 地域スポーツクラブ ・さめうらかヌーアカデミー スポーツ/アウトドア ツーリズム ・ガイドツアー ・イベント（アウトター/インナー） ・スポーツ/体験型合宿など スポーツウェルネス ・フレイル予防 ・ウィメンズヘルス ・障がい者スポーツなど 	
地域の多様な 主体の参画	地域スポーツクラブと地域スポーツコミッションが連携し、町民の健康づくりに取り組むとともに、アクティビティ提供事業者とも連携し幅広い世代や属性の対象者にスポーツ実施の働きかけに取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①日常生活機能合計点の維持及び向上（+5%） ②地域において指導者が確保できている地域スポーツクラブ数（+5団体） ③地域へのUIターン数（+7人） ④エコツーリズム事業の売上（+22,500千円）

事業概要【まちの魅力「編集」・「発信」事業】

申請者	高知県土佐町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	38,040千円 (7,080千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・土佐町では年間5件程度の起業・新事業創出など地域活性化の新たな動きが活発化している一方、人口減少に伴い地域の担い手が減少しており、各プロジェクトの情報発信や営業活動に十分なリソースを投入できない状況が課題となっている。本事業では、地域プロジェクトマネージャーを核とした「まちの編集室」を設置し、デザインやデータ活用等の専門人材を配置。地域事業者の情報発信を側面支援することで、地域活動の自走化と持続可能な地域づくりの実現を目指す。						
事業概要・主な経費	【ソフト事業経費】 ○「まちの編集室」事業 1,400千円 ・情報発信サービス使用料 ○地域資源の外商拡大事業 2,000千円 ・情報発信媒体制作 ○海外向け情報発信及びインバウンドツーリズム促進事業 3,000千円 ・テレビ番組制作 ○活動人口拡大事業 680千円 ・セミナー開催 ※経費内訳はR7年度事業費					企画推進課 SDGs推進室・企画調整係 SDGs推進会議等の住民会議と密に連携し、情報収集・定住支援 全体統括 随時協議・調整 地域プロジェクトマネージャー 指示・調整(同右) 協力隊 (情報発信) SNSやメディアでの発信 リリースの支援 ブログ記事の執筆 広報等の制作支援 協力隊 (デザイン) 広報媒体のデザイン 写真・動画製作 その他、デザインの支援 ※現高橋の業務を想定 協力隊 (オープンデータ) 町のオープンデータ化の 仕組みづくり、実施支援 データトレーニング 住民のデータ活用支援 協力隊 (海外情報発信) （外国人採用を予定） 海外向け情報発信 インバウンド拡大の企画 その他海外に向けた取組 本プロジェクトに所属するが、英語話者のため課直轄で活動 プロジェクトの実施方針及び全体マネジメントは、SDGs推進室とプロジェクトマネージャーが密に連携して進捗管理 週1回程度定例会で各隊員等の活動状況を確認しながら、プロジェクトを推進していく（適宜、役場各所属の職員も参加） 役場との連絡調整を密に行うため、プロマネ及びメンバーは、2名/1日で役場内でローテーション勤務を行う。 土佐町情報発信プロジェクト	
地域の多様な主体の参画	町内の企業やデザイナーと地域プロジェクトマネージャー、地域おこし協力隊が連携し情報発信を促進する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①土佐町における新規雇用者数（起業者数を含む）（+30人） ②土佐町公式LINE登録者数（+750人） ③土佐町におけるインバウンド数（+470人） ④土佐町における新規事業の1年後継続率（+10%）

事業概要【「まるごと大川」ブランディングを核とした大川村地場産品販売単価向上プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	高知県大川村	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	549,512千円（83,095千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	新たな推進主体である大川村ブランディング推進協議会を立ち上げ、集落活動センター結いの里における住民参加型プログラムを活用することで、村の地場産品に付加価値をつける目的がある。住民の意見を反映したロゴマークが大川村を認知するためのPRコンテンツとなり、ロゴの共通イメージで紐付けして情報発信することが販促効果をもたらす。地場産品の売り上げや商品イメージにプラスの影響を与えることが予想され、各種特産品の販売力の弱点であった高付加価値化の達成が見込まれ、直接的な収益アップにつなげて自立に向けた「稼ぐ力」を身につける。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 ブランディング、プロモーション、商品開発、商品の販路開拓、販売力強化、生産性の向上、人材育成等、各事業における仕上げる年に位置付け、事業展開と同時に最終確認を実施する。 【主な経費】 ○事業概要①（住民参加型むらづくり事業費） （1）ブランディングに係る経費 16,279千円 （2）商品開発に係る経費 13,767千円 ○事業概要②（村地場産品の販売単価向上事業費） （1）村地場産品の営業に係る経費 15,754千円 （2）販路拡大に向けた現場リーダー育成に係る経費 13,679千円 （3）「大川黒牛」「土佐はちきん地鶏」の新規就業者の確保・育成に係る経費 23,616千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①土佐はちきん地鶏の販売平均単価(円/kg) (+841円) ②「大川黒牛」の販売平均単価(円/kg) (+1,883円) ③集落活動センター結いの里の収益事業収入 (+5,225千円) ④株式会社むらびと本舗の新規就業者数 (+4人)	関連URL	http://www.vill.okawa.kochi.jp

事業概要【中土佐町デジタルワーク推進事業】

申請者	高知県中土佐町					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	40,408千円 (25,408千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	- 持続可能な中土佐町として存続していくためには、特に女性や若者が定住し、能力を最大限に発揮できる働く場の整備が急務である。 - 若者に都市部でしかできないと認識されがちなデジタルワークが当町でも可能であり、多様な働き方のできる町として再認識されることで、若者や女性の地域への定住やUターンの促進を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	デジタル人材の育成・確保を行うことにより、地域内に新たな働く場を創出し、女性や若者の定着を図る。 具体的には、知識とノウハウを有する民間事業者と町が中心となり、デジタルワーク人材および人材育成インストラクターを養成する事業を実施する。 併せて、地域事業者のDX化推進および地域内のデジタル業務掘り起こしのため、地域事業者に対してデジタルマーケティング活用セミナーを開催する。 デジタルワーク人材育成 (委託料) 24,408千円 地域事業者向けデジタルマーケティング活用セミナー (委託料) 1,000千円						
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数 [デジタルワークファクトリーが業務を供給するデジタルワーク人材数] (+10人) ②デジタルワーク人材育成講座受講者数 (+11人) ③インストラクター養成講座受講終了者数 (+5人) ④デジタルワークファクトリー開設数 (+1件)					関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.town.nakatosa.lg.jp/life/detail.php?hdnKey=1842 (効果検証) 令和7年9月公表予定

事業概要【司牡丹酒造（株）焼酎蔵買取・整備事業】

申請者	高知県佐川町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	312,953千円 (22,192千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・歴史的建造物である司牡丹酒造（株）の焼酎蔵について、3つの機能（佐川町に残る伝統的な酒造り文化を伝える展示機能・宿泊機能・飲食機能）を持たせた施設の整備を行い、これまで以上に人の往来を活発化させ、交流人口・観光消費額の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 歴史的建造物である司牡丹酒造（株）焼酎蔵のリニューアル工事を行い、3つの機能（佐川町に残る伝統的な酒造り文化を伝える展示機能・宿泊機能・飲食機能）を持たせた施設の整備を実施する。 【ソフト事業経費】 OPR事業 ・委託料 192千円 【拠点整備事業経費】 ○司牡丹酒造（株）焼酎蔵実施設計委託業務 ・委託料 22,000千円						
地域の多様な 主体の参画	学識者による建築調査より得た、焼酎蔵の歴史的価値を損なうことなく、耐震補強や修繕を行うとともに、地元企業や住民へのヒアリング、ワークショップを通じて、宿泊機能や飲食機能などの新たな機能を備えた施設として整備する。また、施設の整備・活用にあたっては、金融機関による資金面での助言を受けるほか、地域で活動する多様な団体と連携し、情報発信や魅力的な観光メニューの開発に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①焼酎蔵における観光消費額（+55,122千円） ②焼酎蔵における宿泊者数（+2,550人） ③観光入込客数（+45,000人）

事業概要【デジタル活用型トマト村振興事業～新しい農業の仕組み化～】

旧制度（推進）

申請者	高知県日高村	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	141,360千円（46,411千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・日高村特産のシュガートマトの出荷量予測やブランディング戦略による安定した農業経営化 ・画像解析技術等の先進技術を活用したスマート農業化による新規就労者の増加 ・地域の担い手減少に対して、在留外国人の日本語支援による農業従事者等の外部人材確保 ・デジタル教育を通じた地域に眠る人材育成によるデジタル活用型の農業就労候補の拡大		
事業概要・ 主な経費	○AI画像解析によるスマート農業化の推進 ・実証準備事業（委託料）13,747千円 ・学術機関と連携とした解析用データ収集（委託料）2,200千円 ○出荷量予測のためのデータ収集やシステム構築の環境準備等の実施 ・出荷量予測環境開発事業（委託料）17,603千円 ○高知大学や民間企業の強みを活かしたブランディング、外国人日本語支援、デジタル人材育成の展開 ・協定プロジェクト（委託料）11,898千円 ○地域再生法に基づく地域再生協議会による事業評価 ・運営支援等（委託料）963千円 The diagram illustrates the project's flow and components. At the top, 'AI画像解析知見を有する学術機関' (Academic institutions with AI image analysis knowledge) and 'JA・農家・農業企業' (JA, Farmers, Agricultural companies) are connected to 'デジタル関連企業' (Digital related companies). These lead to 'スマート農業化事業' (Smart agriculture business) and '出荷量予測' (Yield prediction). 'スマート農業化事業' also leads to 'デジタル関連企業'. 'デジタル関連企業' leads to 'デジタル人材育成' (Digital talent cultivation) and '外国人日本語支援' (Foreign language support for foreigners). 'デジタル人材育成' leads to '潜在的な人材の発掘' (Discovery of potential talent) and '外部人材の活用' (Utilization of external talent). '外国人日本語支援' leads to '外国人日本語支援' and 'ブランディング' (Branding). 'ブランディング' leads to '出荷額向上' (Increase in sales volume). '出荷額向上' leads to '担い手確保 安定した経営' (Secure workforce, stable management) and 'トマト村振興' (Tomato village revitalization). The final outcome is '新しい農業の仕組み化' (New agricultural mechanisms). ※経費内訳はR7年度事業費		
KPI	①地域における農業就労者数（+15人） ②シュガートマト1kgあたり平均出荷額（+40円） ③出荷量予測精度の向上（+80%） ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	https://www.vill.hidaka.kochi.jp/kuurashi/child_category_page.cgi?DEPTH=3&CATEGORY_ID=6&CATEGORY_ID2=18&CATEGORY_ID3=2

事業概要【官民協働フィットネスで地域に元気を創造】

申請者	高知県津野町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	516,285千円 (23,430千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- 健康増進施設をリニューアルし、多様な運動サービスの提供と積極的な情報発信を進めることにより、健康産業の拡大を図る。 - 若者から気軽に運動を楽しめる環境を構築し、健康長寿の地域づくりに貢献。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 既存の公共施設をフィットネスに特化して整備し、運営面では民間のノウハウを取り入れることで「老若男女が楽しく運動を継続できる場所」として、本町及び近隣市町村からの利用者の拡大、それに伴う収入の増加を目指す。 【拠点整備事業経費】 ○健康増進施設リニューアル整備 ・実施設計（委託料） 23,430千円						
地域の多様な 主体の参画	指定管理制度を導入し、民間の知見を取り入れることで、利用者拡大及び収入増加に努め、毎年行う事業報告会において、改善点を明確化し、事業内容への反映に取り組む。また、若者世代には積極的に施設利用を促し、SNS発信を求めるとともに、地元金融機関のQRコード決済を本施設でも導入し、地域のデジタル化を推進する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①健康増進施設売上額（+13百万円） ②健康増進施設町内利用者（+18,733人） ③健康増進施設町外利用者（+12,651人） ④健康増進施設女性利用率（+10%） ⑤運動習慣のある20歳～74歳（+2%） ⑥若者を対象としたイベントの回数（+3回）